

環境安全室より

～For further safety さらなる安全を～



平成30年度 標語

『みんなで感謝の総点検
笑顔で迎える 年末年始』

社員の皆様、毎日のお仕事ご苦労様です。

今年も残すところあと1ヵ月となりました。12月に入り日に日に寒さが身にしみる時期になってきたか
と思います。

今年も例年通り12月15日から来年1月15日までの1ヶ月間

『みんなで感謝の総点検 笑顔で迎える 年末年始』

を標語として年末年始無災害運動が実施されます。

年末年始は世間の雰囲気も相まって慌ただしくなりますので、各事業場においては事業長を中心に
朝礼・始業点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、非定常作業の作業時には安全確認(KY
の実施等)の徹底、保護具等の点検・着用の確認、リスクへの注意喚起、健康状態の確認等の職
場の総点検を全員で確実に取組むことが重要となってきます。

また12月は忘年会シーズンでもありアルコールを飲む機会も増えてくることと思います。飲酒運転は
絶対にしない・お酒でのトラブルは起こさないよう各自、心がけ業務に支障をきたさないようにしましょう。

【ご安全に・・・】

【環境安全室室長 上馬場 正】

川内はんや祭りに参加 ～明治維新150年記念大会～



11月4日、爽やかな秋晴れの中【明治維新150年記念
大会】と銘を打ち開催された川内はんや祭りに植村企
業グループも参加しました。

約60組5000名が参加したこの祭りは薩摩川内三大イ
ベントの一つに数えられ小さい子供達から高齢の方達まで
思い思いの衣装を身に纏い、約3.0kmの道のりを「川内
はんや節」等のリズムに合わせて踊り歩きます。

YouTubu等でも見る事が出来ますので是非ご覧下さい。

興味を持たれた方は来年参加されてみては如何ですか？



各部署・各工場の紹介

～川辺工場～

ガイアテックには、関連工場を含め17の工場と幾つかの部署があります。第5回目は砕石工場でも何かと話題の【川辺工場】について紹介します。

川辺工場は、昭和60年10月創業の砕石工場で先月34年目に突入しました。ガイアテックの砕石工場の中では2番目に新しい工場です。

工場の面積は約54万㎡もある広い工場の中で、先山・原石班(5名)、砕石・砕砂プラント班(2名)、出荷・製品積み込み班(2名)、営業・事務班(2名)に檜柑山部長を加えた11名で日々作業を行っております。

また昨年の安全大会では、約2年間掛けて建設して頂いた新一次プラント及び砕石工場では国内では例を見ない総延長約500mにも及ぶ長距離コンベアの映像を見て頂き社員の皆さんの記憶に新しいかと思えます。

この設備の稼働に伴い、運搬距離が約1100mから約400mに短縮出来たり、細かく小割をしなくて良い分の作業短縮が出来たりと作業コストの削減に繋がったと共に雨天時等には作業道路が悪くなり危険性が高く作業できなかったことも有りましたがこれが解消され、安定供給と安全性が格段に向上しました。

また川辺工場内には、10年程前にガイアテックと吹上工業さんと共同設立した鹿兒島ゲイトという会社があり、ここでガリバー砕砂の製造・販売を行っています。

最後に、皆さん社内報でご存じの通り今年7月に転落事故をおこしました。これを機に全従業員で点検を行い、現在劣化した箇所を修理や清掃・補修を行っているところです。

今後も従業員一同で安全で働きやすい職場環境作りに日々精進していきます。



【今東 靖昭 工場長】



【川辺工場のメンバー】



今回導入した大型の1次プラント

表彰受賞報告

11月29日(木)に(株)ガイアテックは、自衛隊 鹿兒島地方本部 本部長 1等海佐 高岩 俊弘様より、退官した自衛官の再就職支援に尽力したということが評価され、【平成30年度 就職援護功労】賞を頂くことが出来ましたので、社員の皆さんにご報告いたします。



免許・資格取得者紹介

採石業務管理者：上野 宏晃(原電)、井手口 徹(高城)、壽美 順一(営業本部)、後野 剛一(アラゴ)
酒匂 景敏(大隅LLP)

安全衛生推進者：唐仁原 栄一(本社)、井手口 徹(高城)

ガス溶接：山之口 健二(岩元)、赤岩 正貴(高城)

普通救命士：唐仁原 栄一、新屋 雄樹 (本社)

危険物取扱者(乙4種)：井手口 徹、上村 孝文(高城)、今井 康大(南国ガイア)、宮野 竜一(阿久根)

玉掛け：呉 敏朗 (高城)

協力業者の紹介 ～日工株式会社～



第4回目は、生コン及びアスファルト合材工場でお世話になっているプラントメーカーである【日工株式会社】さんを紹介いたします。

日工株式会社は、兵庫県明石市に本社を置くアスファルトプラント・生コンクリートプラント等の建設機械、コンベヤ等の産業機械、破碎機、防水板、仮設足場、ショベル等の製造・販売を行う会社です。

古くは大正8（1919）年、鈴木商店工事部門関係者が中心となって設立した土農工具製造会社「日本工具製作株式会社」が前身であり、トンボ印の日工ショベル・スコップは長年に渡りご愛顧頂いております。



日工株式会社

代表取締役 西川 貴久 社長

「nからはじまる未来創造」

現在は“トンボ”から生まれ、はじまっていく新しい技術、その技術が未来の暮らしを創っていくという意味を込め、『nからはじまる未来創造』をコーポレートメッセージに掲げ、来年度100周年の記念すべき年に向け、日々モノづくりに励んでおります。

○事業所：本社（兵庫県明石市）、事業本部（東京都千代田区）、支店（北海道、東北、北信越、関東、中部、大阪、

中四国、九州、台北）、営業所（横浜、四国、南九州）、サービスステーション『盛岡、湾岸、北陸、岡山』

○社員数：797名

○グループ会社（日工工程机械有限工事、日工電子工業、日工マシナリー、トンボ工業、日工セック、前川工業所、日工興産）

株式会社 ガイアテック様との繋がり

ガイアテック様におかれましては、多数弊社プラントをご使用頂いております。

アスファルトプラント：4工場（川内・阿久根・国分・大隅）

生コンクリートプラント：6工場（川内、鹿児島、みゆき、宮之城(南工場)、
カイコーガイアLLP、コーアツガイアLLP)



ガイアテック 鹿児島工場

弊社としましては、これらの工場にて今後より安全に・より高品質な製品を製造頂けるよう、製品開発の強化・サービスの拡充に努めて参ります。

最後に・・・

弊社はこの度100周年記念事業の一環として、日工製品案内会『NIKKOメッセ2018』を実施しました。(期間10月22日～11月2日)

おかげさまで多数のお客様にご来場頂き、我社の製品開発への取組み・モノづくりに対する姿勢を見て頂くことが出来ました。ガイアテック様におかれましても多数ご来場・見学頂きました。誠に有り難うございました。

これからも世の中に役立つ製品開発活動を継続し、皆様の益々のご発展に協力できるよう取組んで参ります。



NIKKO MESSE2018
の様子